

# 仕事を通して社会に貢献し 地域に根ざしてお客様に愛される会社に

株式会社TOSYS



## 1. はじめに

長野市に本社を置く(株)TOSYSは、グループ会社6社とともに(図1)、主に長野県・新潟県・山梨県を中心に情報通信エンジニアリング事業を展開しています。豊かな自然に囲まれ、人と人とのつながりを大切にす地域で仕事をさせていただ

いていることから、「TOSYSグループは事業を通して地域社会の暮らしを縁の下から支え、お客様に愛される会社を目指す」を目標として企業理念・行動指針を掲げています(図2)。

その理念は「技術力とマネジメント力に裏打ちされた安全と品質の確

保」「社員の頑張りが報われる元気の出る仕組みの構築」「イベントを通じた地域社会への貢献」の3つの柱で、以下に紹介します。

### 【TOSYSグループ】

**株式会社 TOSYS**  
所在地：長野本社 長野市北長池1898-10  
新潟本社 新潟市西区的場流通2-4-1  
従業員数：約700人  
主な事業：アクセス事業／ネットワーク事業／モバイル事業／ITビジネス事業

グループ会社

**株式会社 アルスター**  
所在地：松本市大字和田4020-25  
従業員数：約240人  
主な事業：アクセス事業／ネットワーク事業／電気事業／ITビジネス事業

**株式会社 トーシス新潟**  
所在地：新潟市西区的場流通2-4-5  
従業員数：約150人  
主な事業：電気通信・情報システム事業／電気設備事業／土木・造園事業／建設廃材の収集運搬処理

**チューリップライフ 株式会社**  
所在地：新潟市西区的場流通2-4-2  
従業員数：約250人  
主な事業：自動車の修理・加工・販売・リース・レンタル業／交通誘導警備業／保険代理店業

**川中島建設 株式会社**  
所在地：長野市篠ノ井布施高田955-3  
従業員数：約60人  
主な事業：総合建設業

**株式会社 長野道路**  
所在地：長野市篠ノ井山布施7752  
従業員数：約20人  
主な事業：総合建設業

**株式会社 日本アフター工業**  
所在地：長野市大豆島3893  
従業員数：約10人  
主な事業：さく井・灌漑・ポンプ設備事業/電気事業

図1 グループ会社紹介

**TOSYSグループ企業理念**

私たち TOSYS グループは  
人間とテクノロジーがより高度に融けあう  
豊かな未来づくりに貢献します

**行動指針**

- お客様の立場で考え行動し、喜ばれ信頼されるよう努めます。
- 常に問題意識を持ち、新しい目標に向かって挑戦しつづけます。
- 一人ひとりが誇りを持って、自らの判断と責任で行動します。
- かけがえのない命と設備を守るため、基本動作に徹して行動します。
- 良き企業人、良き社会人をめざして、自己の向上に努めます。

図2 グループの企業理念・行動指針



写真1 1,100人（153班）が参加した「小集団活動」の発表会



写真2 「関東・東北豪雨の水害」で夜を徹しての排水作業

## 2. 安全と品質の確保

「技術力とマネジメント力に裏打ちされた安全と品質の確保」

### (1) 小集団活動

プロ集団として発注者様やお客様の信頼を裏切ることのないよう事業を展開していくためにはトップダウンの施策だけでは限界があると考え、グループ内の意識改革を促すという意味から「小集団活動」を行っています。この活動は業務をいちばん良く知っている現場の社員が職場の業務を総点検し、自ら考え改善していくことで、安全の確保や品質の担保、業務の効率化に結び付けることを目的としています。

昨年6月に立ち上げたこのプロジェクトの第1回目は、グループ社員1,100人（153班）が参加し、テーマの選定とそれに伴う改善活動を行いました。そして、テーマ選定の経緯や活動状況、結果や反省点などをまとめた資料を作成し、発表会に挑みました（写真1）。プロジェクトに参加した社員からは「業務の改善に向けてグループ内で改めて話し合うことができたことで視野が広がり大変有意義な取組みだと思う。今回の活動で問題が改善されたことに満足せず、一連のフローを業務に生か

していきたい」といった感想がありました。今後も年間2テーマの活動を継続することで、職場内の安全・品質・業務の効率化を推進する気風と連帯感を醸成して行きます。

### (2) 災害復旧への対応

昨年9月、台風の影響による水害で死者7人、床上浸水被害4,700棟に上る被害を出した「関東・東北豪雨」では、国土交通省からの要請を受け、グループ企業の川中島建設(株)の社員5人が、とくに被害の大きかった宮城県北上川下流河川事務所管内で3日間にわたり排水作業にあたりました。

災害時にいち早く対応した機動力と、不慣れな土地でも十二分に発揮することのできた技術力に対し、同社は後日、国土交通省北陸地方整備局長様より感謝状をいただきました。現地で作業にあたった社員からは「われわれが現地に到着した時には見渡す限りの田んぼが滞水して湖のようになっており、地元の方が『収穫前の稲は長期間水に浸かると芽が出てしまい商品価値がなくなる』と途方に暮れておられました。担当を任された一帯はブランド米の産地で泥水にまみれながらも必死に排水作業を続けたことで、後日、無事にお米が収穫できたとお聞きして

ほっとしました」と話していました（写真2）。

### (3) 組織を越えた仕組み作り

年々多様化するお客様サービスへの対応や最先端IT技術の活用、コストダウンの追求などを考えると、個社の取組みだけでは限界があると考え、TOSYSグループではグループ各社の地の利や得意分野を生かし、業務の片寄せやロケーションの統合等により、組織を越えた仕組みを構築してグループ内の連携を図ることで業容の拡大、業務の効率化を図っています。

この6月には長野県の中心部となる松本市に新たなビルを竣工し、中信エリアの重要な拠点として活動を始めています。

これまで北信地方の長野市に本社を構えていたグループ会社のひとつ(株)アルスターが中信地方に位置するこの松本ビル内に本社を移転したことで、TOSYSグループとして中信エリアにおける事業展開が容易とな



写真3 さまざまな意見が交わされた「女性社員による座談会」



写真4 「TOSYSの森林」の整備を通じ環境保護を考える



写真5 「ドリームフェスタ」バザーの収益金は福祉活動へ寄付

り、中信地域のお客様にきめ細かなサービスのご提供が可能となりました。さらには事業展開エリアにおける業容の拡大、業務の効率化がなされることはもちろんのこと、グループ間の連携がさらに強まりました。

### 3. 元気の出る社風作り

「社員の頑張りが報われる元気の出る仕組みの構築」

#### (1) 女性社員による座談会の実施

TOSYSグループには、多くの女性技術者が現場で活躍していますが、業界全体の数から考えると、まだまだマイノリティな存在ともいえます。企業におけるダイバーシティマネジメントが年々重要な課題となっている中、女性が働きやすい職場環境とは何かを考えるため座談会を開催し、キャリアや職種の違う女性社員の代表からさまざまな意見を聞きました(写真3)。

現場技術者である女性社員からは「お客様対応などでは女性ならではの細かい気配りを生かしたい」という抱負や、「現場で働きたいということを知ってほしい。必要以上に気を遣わなくていい」といった意見が出されました。

また、産休・育休などで長期間職場を離れることへの不安については「周りの人からの理解は不可欠だが、環境に応じて自分自身のキャリアや

知識を高める努力も必要」「今、産休・育休を取得しやすい環境を作ることは、将来介護離職などの問題に直面する男性社員にとっても有意義となる」といった考えや「女性の特性は『個性』と受け止めて特別扱いをせず、キャリアや得意分野を生かせるような職場に」といった意見が活発に交わされました。

#### (2) 人材育成

昨年11月、(株)TOSYSは日本データ通信協会様より「情報通信エンジニア優良団体表彰」をいただきました。これは、多くの社員が国家試験である「工事担任者資格」の努力義務証明ともなる「情報通信エンジニア資格」を取得・更新していることに対し、それを支援し技術者のスキルアップに貢献しているとして、6年連続で表彰していただいたものです。なお、平成28年3月末での当社情報通信エンジニア資格者数の団体別ランキングは全国1位となっております。

このように、社員個々のスキルアップと高度な技術を証明する資格の取得に対し、積極的にサポートを行っています。たとえば、(株)TOSYS・品質工法部では資格取得費用の個人負担を軽減するため、すでに合格した社員から不要なテキストなどを回収し、これから受験する社員に貸与するなど、資格取得にチャレンジする社員を経済面・精神

面で支えるシステムを整えました。

### 4. 地域社会とのふれあい

「イベントを通じた地域社会への貢献」

#### (1) TOSYSの森林整備事業

1999年から長野県上水内郡信濃町の国有林を「TOSYSの森林」として借り受け、倒木処理や下草の整備を行うことで環境保全問題に取り組んでいます。森林を管理する中部森林管理局様からの報告では、この活動により1年間で土壌の浸食や流出を防ぐ量は10tトラック9台分、CO<sub>2</sub>の排出量は35人分に換算されるという事で、地球温暖化の防止にわずかながらも寄与できているのではと思っております。

この活動には毎回約100人のグループ会社社員が家族ぐるみで参加しています。森林整備作業の後には自然の中で食事をしながら、普段顔を合わせることはないさまざまなロケーションから集まった社員同士が親交を深める場ともなっています(写真4)。

#### (2) TOSYSドリームフェスタ

今年23回目を迎えるドリームフェスタは、バザーや物産品などの販売を行うチャリティイベント(写真5)と、グループ社員が事業部やロケーションごとにチームを組んで参加するスポーツ大会が主な内容となっています(写真6)。



写真6 社員同士の絆が深まる「ドリームフェスタ」スポーツ大会



写真7 「長野びんずる」では揃いの法被で息の合った踊りを披露



写真8 1万人の参加者を誇る「新潟まつり大民謡流し」に彩りを添える

年に1度の開催となるこのイベントは社員の家族や地域住民の方々など毎年約1,000人が訪れるビッグイベントとなっており、社員の家庭で眠っていた不要な贈答品などを寄付してもらい販売するバザーは特に人気となっています。バザーや物産品の収益金、イベント参加費、当日集まった募金などは、TOSYSからのマッチングギフトと合わせて、地域の社会活動・福祉活動などに役立てていただくため、毎年さまざまな団体へ寄贈しています。

### (3) 地元イベントへの積極的参加

各ロケーションでは、地元で行われる地域行事に積極的に参加しています。長野市の「長野びんずる」(写真7)、新潟市の「新潟まつり大民謡流し」(写真8)にはそれぞれ100人ほどのグループ社員が踊り手として参加し、祭りを盛り上げています。また、地域の自然や環境を守るため行われるゴミ拾いなどの清掃活動(写真9)への参加はもちろん、各事業所には日本赤十字社の要請により定期的に献血バスが訪れ、多くの社員が献血に協力をする姿が恒例となっています(写真10)。



写真9 家族連れで参加する社員も多い「地域の清掃活動」



写真10 TOSYSの主な事業所には「献血バス」が定期的に訪れる

## 5. まとめ

TOSYSグループはさまざまなCSR活動をきっかけとして社員1人ひとりが地域活動や環境・福祉活動について自ら考え積極的に取り組む意識の醸成や参加を後押しできる企業であり続けたいと考えております。CSR活動においては社員のみならず、その家族にも積極的に参加してもらうことで、将来を担う子どもたちに環境や福祉について考えてもらう良い機会になればと思っております。

業務においても技術力・マネジメント力に裏打ちされた安全で高品質なサービスをもってお客様の信頼に

お応えしていくことが企業の社会的責任と考えております。さらに災害時などには、救済・復旧活動にいち早く対応できる機動力に加え応用力のある高い技術が必要となることから、TOSYSグループは「技術のTOSYS」というキャッチフレーズの下、社員のスキルアップや技術の継承に力を入れて社会に貢献できる人材を育成していきたいと考えています。

TOSYSグループはこれからも、お客様、地域住民、社員とその家族を大切に思い、その信頼を裏切らないよう、安全・安心・誠実に業務を通じて社会に貢献する姿勢を継続してまいります。